



## PRESS RELEASE

2019年5月22日

### アッヴィ、2018年の日本の業績を発表

売上高倍増、上位20社入り\*。社員のエンゲージメントも高水準

- 売上高は対前年比104%増の1,726億円を達成(日本法人決算)
- 販促会社レベルで15位となり、上位20社入りを達成\*
- パイプラインを前進させ、オンコロジー領域で初となる開発品の申請も含め4つの開発品を申請。ヒト型抗ヒトTNF $\alpha$ モノクローナル抗体製剤ヒュミラ®皮下注で10番目となる適応症の承認を取得し、また2製剤を上市
- 社員数は前年から151人の増員で1,192人となり、組織拡大
- ビジョンや目標に向けて、自分の能力を発揮して貢献することに95%が肯定的

アッヴィ合同会社(本社:東京都港区、社長:ジェームス・フェリシアーノ)は本日、2018年の日本法人の業績を発表しました。2018年の売上高は、対前年比104%増の1,726億円を達成しました。2018年の医家向製品で売上高トップ\*のC型慢性肝炎治療薬のマヴィレット®配合錠が成長を大きくけん引し、ヒュミラ®皮下注、シナジス®筋注液、デュオドーパ®配合経腸用液などの主力製品も売上増に貢献しました。

この結果、アッヴィは販促会社レベルで15位となり、初の上位20社入りを達成\*。2013年アッヴィ誕生時の37位から大きく躍進しました\*。また、対前年成長率、5年(2013-2018)の年平均成長率ともに、販促会社レベル上位20社でトップでした\*。

開発においては、以下の進捗がありました。

- 乾癬の治療薬としてリサンキズマブ(一般名)を、2018年5月に製造販売承認申請し、本年3月、世界に先駆けて承認(製品名はスキリージ®)されました。
- ヒュミラ®皮下注について、2018年6月に化膿性汗腺炎の適応追加を国内で初めて製造販売承認申請し、本年2月に本剤11番目の適応症として承認されました。
- 再発/難治性の慢性リンパ性白血病治療薬としてベネトクラクス(一般名)を、2018年11月に製造販売承認申請しました。
- マヴィレット®配合錠について、2018年11月に、12歳以上の小児C型慢性肝炎への適応追加を申請しました。



さらに、以下のマイルストーンを達成しました。

- 2018年3月に、ヒュミラ®皮下注について、既存治療で効果不十分な膿疱性乾癬の効能・効果で承認取得
- 2018年6月に、オート・インジェクター製剤ヒュミラ®皮下注ペンと新たな小児用製剤ヒュミラ®皮下注 20mg シリンジ 0.2mL を発売

2018年は151人の増員で1,192人となりました。これは、主に自己免疫疾患領域とオンコロジー領域の組織拡大によるものです。組織が拡大する中、社員のエンゲージメントは高く、2018年末の社内調査(有効回答数897)で、回答者の94.8%が、会社のビジョンや目標に向けて、自分の能力を発揮して貢献することに肯定的な回答を示しました。今後も、本年2月の本社オフィス移転を機に働き方改革も進め、さらに柔軟で効率・効果が高い働き方を推進していきます。そして引き続き、選ばれる企業を目指し、イノベーションを推進するオープンな企業文化の下、社員一人一人が働きがいと成長を実感できる組織づくりに取り組んでいきます。

社長のジェームス・フェリシアーノは、2018年を振り返り次のようにコメントしました。「2018年は、これまで急成長を続けてきたアッヴィにとってさらに躍進した年となりました。私たちが取り組んでいる疾患領域の患者さんに革新的な製品を提供することにとどまらず、社員がOne AbbVieとして患者さんやご家族、そして社会にとってより良いソリューションを提供するために取り組んで成し得たことを誇りに思います。今後も新製品上市の成功、パイプラインの前進、社員のエンゲージメント向上で、ビジネスを成功させトップ20を維持していきたいと思います。私たちは、これからも患者さんの笑顔に貢献できるよう取り組んでまいります」

出典： \*IQVIA JPM 2013年1月～2018年12月データを基に自社集計  
Copyright © 2019 IQVIA. All rights reserved 無断転載禁止

## アッヴィについて

アッヴィは、グローバルな研究開発型のバイオ医薬品企業です。世界で最も複雑かつ深刻な疾患に対する、革新的な先進治療薬の開発を行っています。その専門知識、献身的な社員、イノベーション実現に向けた独自の手法を通じて、免疫疾患、がん、ウイルスおよび神経疾患の4つの主要治療領域での治療を大きく向上させることをミッションに掲げています。世界中の人々が持つ健康上の課題への解決策を進歩させるため、75カ国以上の国でアッヴィ社員が日々取り組んでいます。アッヴィの詳細については、[www.abbvie.com](http://www.abbvie.com) をご覧ください。Twitter アカウト [@abbvie](https://twitter.com/abbvie)、[Facebook](https://www.facebook.com/abbvie)、[LinkedIn](https://www.linkedin.com/company/abbvie) や [Instagram](https://www.instagram.com/abbvie) でも情報を公開しています。

日本においては、1,000人を超える社員が、医療用医薬品の開発、輸入、製造販売に従事しています。自己免疫疾患、新生児、肝疾患、神経疾患、がんの各領域を中心に、患者さんの生活に大きく貢献できることを願っています。詳しくは、[www.abbvie.co.jp](http://www.abbvie.co.jp) をご覧ください。